

新発田市租税教育推進協議会長賞

税金と私たちの未来

新発田市立 東中学校 三年 大倉 結希奈 さん

「増税をするべきかしないべきか。」

こんな話題で話し合っている様子をたまたまニュースで見た。私は正直、なぜ増税が必要なのか分からなかったし、物を買う時に高いのは嫌だと思ったから、増税はしなくても良いのではないかと感じていた。

しかし、よくよく考えてみると私たちの生活の中で税金はいたるところで活躍していることに気付いた。

まずは、ここ最近の重要な使い道というと新型コロナウイルス関連だといえるだろう。

国民一人ひとりに対する10万円の給付金や布製マスクの調達費用、配送費用にも使われて、税金の使い道に大きな注目が集まったことは記憶に新しい。

そして、税金は公園や道路の整備、ごみの処理など町の中の誰もが利用するところでも使われている。公園は友達と遊ぶときにもたくさん使うし、道路がボコボコしていたら危ないだろう。ごみの処理も自分だけではできず、困ることになる。

私が税金の使い道の中で一番関わりが深いと感じたのは、学校関係だ。

机やイス、黒板やチョークと、教室の中は税金で成り立っているといっても過言ではない。授業になくってはならない教科書もそうだ。教科書の裏をみると私たちが払っている教科書代は0で税金から払われていると分かる。当たり前のように使っている校舎自体や体育館の建設にも税金が関わっていることを「税に関する資料」を読んで初めて気付かされた。学校生活の中で私が特に助けられているのは通学時だと思う。私の住む地区は路線バスで通学している。そこで必要となるのが定期券だ。ここに使われているお金も税金から出ていることを知り、すごく身近に感じた。

税金は、「日本」という国一つを支える大きな役割を担っている。自分には関係ないだろうと思う場面でもどこかで税金に助けられて私達は生活しているのだ。

私は、一つのニュースから税金の必要性、ありがたみを大きく感じた。ときには税金の使い道が批判されることもあるだろう。私も以前までは、こんなところにわざわざ使わなくてもいいのにとすることがあった。しかしそれは誰かが必要としているから使われるのであって、全否定する必要はない。

これから、何かを買うなどして税金を払うときは、税金が嫌な存在だとは思わない。日本を支え、発展させてゆくことに貢献できたらいいなと思う。そして税金が活躍してつくりあげる未来を楽しんでいきたい。